

名もなき人々が刻んだもうひとつの日本史。

消えてしまわないうちにその足跡をたどる。

第1講

山間部に残る、日本の宗教伝統
「いざなぎ流」を手掛かりに

講師：国際日本文化研究センター所長・小松和彦



土佐国物部村（現 高知県香美市物部町）の山深い峻険な地に暮らす村人たちが古くから守り伝えてきた「いざなぎ流」。

“太夫”と呼ばれる在地の宗教者たちによる不思議な民間信仰の姿です。神秘的な祭儀、物語性に富む祭文、神霊を象った数百種もの御幣など、その全てに原始の信仰の姿を見いだすことができます。陰陽道や修験道、神道、仏教と混淆しつつ、独自の信仰を今に伝える「いざなぎ流」の謎に満ちた歴史と文化に分け入ることで、いつか何処かで確かに存在していたであろう私たち日本人の精神の根源に迫ろうという講座です。



小松和彦（こまつ・かずひこ）

国際日本文化研究センター所長。1947年東京都生まれ。

東京都立大学大学院社会科学部研究科博士課程単位取得退学。信州大学講師および助教授、大阪大学文学部助教授及び教授、その後国際日本文化研究センター教授、副所長を経て2012年4月より現職。専門は民俗学、文化人類学。特にライフワークとして位置づけている『いざなぎ流の研究—歴史の中のいざなぎ流太夫』の続編『祭文と儀礼』のための資料整理と執筆に取り組んでいる。

1979年第10回澁澤賞（公益信託澁澤民族学振興基金）受賞。2013年紫綬褒章受章。

2016年文化功労者顕彰。主な著書に、『神々の精神史』（講談社学術文庫）、『靈信仰論』（講談社学術文庫）、『異人論』（ちくま学芸文庫）、『異界と日本人』（角川ソフィア文庫）、『怪文化入門』（角川ソフィア文庫）、『百鬼夜行絵巻の謎』（集英社ビジュアル新書）、『怪異の民俗学』（全八巻、河出書房新社、編著）、『日本妖怪学大全』（小学館、編著）、『妖怪文化研究の：前線』（せりか書房、編著）、『いざなぎ流の研究』（角川学芸出版）、『伝説』はなぜ生まれたか』（角川学芸出版）など多数。



日 時

7月27日（土）

13:30 ~ 15:00

受講料

3,700円

お申し込み方法

- ご予約のうえ、下記口座にお振込み下さい。
- 三菱東京UFJ銀行 栄町支店 普通
- 0160603 名義：ソウキシャソフィー
- または当日ご持参ください。

お申し込み・お問い合わせは

創企舎 ソフィ

460 0007 名古屋市中央区新栄2 6 13 共生印刷北館2階

Tel/Fax 052-684-5894 直通090-8474-6363

Email: soukisha-sophy@gd5.so-net.ne.jp

URL: http://s-sophy.com

創企舎ソフィ

検索

会場案内図

IMY（アイエムワイ）ビル会議室

〒461-0004 名古屋市東区葵3-7-14

地下鉄東山線「千種」駅①番出口徒歩2分

地下鉄桜通線「車道」駅③番出口徒歩1分

JR「千種」駅徒歩5分（メルパルク北隣）



201907